

「Grand Line」1 学年通信

高

岩手県立盛岡第三高等学校 1 学年

令和 7 年 5 月 8 日(木)発行 Vol. 4



三高マスコット「トナンくん」

🌸 鵬 63 回生のみなさん、偉大なる航路 Grand Line へ向けた航海が始まってから今日で 31 日が経ちました。残りの航海日数は 1029 日です。学年通信 Vol.4 では 4 月 11 日に実施されたスタディサポート結果診断レポートの振り返りと今後の学習をより充実させるためのアドバイスを国語・数学・英語の各先生方からいただきます。是非今後の学習の参考にしましょう。「朝の脳は天才だ」ということを聞いたことはありますか？脳科学者や医師によると、朝は脳のパフォーマンスが最も高い「ゴールデンタイム」とされており、起床後の数時間は記憶力や集中力、判断力、ひらめきなどが特に高まることが実証されています。作家の外山滋比古さんは、数百万部単位でロングセラー中の著書「思考の整理学」の中で「朝食前の時間は脳が最も冴えて効率的」、「朝は情報が整理され、集中力が高いため、複雑な作業も容易にこなせる」、「簡単だから朝飯前にやるのではなく朝飯前にやるから簡単にできる」等、朝勉強に取り組むことの利点を切々と説かれています。盛岡三高では朝学習を毎朝 8：00～8：20 に実施しており、鵬 63 回生は自分で考えて自分の身になること（朝読書や朝学習等）に取り組む時間としています。塵も積もれば山となる。この 20 分間を効果的に活用することで苦手科目の克服や、得意科目の応用力養成などにトライしてみましよう。

国語 (国語科： 及川 悠 先生)

「ネットショッピング」は楽しい。自分が欲しいと思ったものを、いくつかのサイトで比較しながら、最も良いものを探していると、時間が経っています。「TVゲーム」も時間を忘れさせてくれるものの代表ではないでしょうか。そして、「楽しい」と感じるものの最大の利点は、**覚えようとしなくても勝手に知識が蓄えられ、自分自身がどんどん「進化」していくこと**です。

さて、「スタディサポート」について、少しお話しします。皆さんが記入した「スタサポ」の振り返りを見ていくと、国語においては「古典」に対する苦手意識や不安を抱えている生徒が圧倒的に多いことが分かりました。しかし、それは当然です。今の中学生は、古典に接する時間が少なく、授業もどちらかというと「あらずじ」重視な傾向にあります。対して、入学直後に取り組む内容は「文法」です。つまり、「出来なくて当たり前」なのです。

古典が苦手なのは、あなただけではありません。

このような状況を踏まえ、授業では基礎から取り組んでいきます。現在、「用言の活用」の学習を終えたクラスが多いと思いますが、この知識は大学入試でも大いに役立ちます。共通テストでも必要になることを、高校入学たった 1 カ月で学んだこととなります。そして、1 年次で扱うひとつひとつが、3 年後に皆さんの進路を実現するための大きな力になります。

つまり、(←前に述べたことを簡単にまとめる役割をもつ接続詞 = 以後は筆者の主張につながる可能性大)「古典は今から始めても、十分に間に合う」ということです。 そう思うと、少しは気持ちが楽になりませんか？ 同じ不安

を抱えた者同士が共に学んでいくことで、1 年後、その不安は相当小さくなっているはずです。ちなみに、大学共通テストの内容は、**1・2 年次の履修内容が大きな割合を占める**とされています。

以上を踏まえ、自身が目指す進路を実現するために、何をしていくべきでしょうか？

現代の国語で取り扱った『君たちはどう生きるか』では、「目の前に広がる様々な課題を解決し、社会を発展させていくためには、**何が正しいかを個人が見極め**、社会に貢献していく必要がある」という内容が描かれています。それを勉強に当てはめると、(1) **自己分析・理解** (何が出来て、何が足りないのか) (2) **改善策の立案** ((1)を解決するために、何をすべきか) (3) **実行** (4) **振り返り** (実行してみて、どうだったか) という流れになります(あくまで一例)。考査や各種模試の得点に一喜一憂するのではなく、結果を元に自己分析するくせをつけましょう。クリアするまで、攻略方法を考え、何度もトライする過程はゲームと一緒にです。

最後に、冒頭にも述べましたが、上達の一番のポイントは「**楽しむこと**」だと思います。しかし、**それが一番難しい**。それでも、三高国語科は、皆さんの国語力を「**楽しさ**」の中で伸ばしていきたいと考えています。一緒に頑張っていましよう！

数学 (数学科： 松田 圭一 先生)

以前、関わっていた生徒の 1 人から印象的なことを言われました。

「中学校までの数学は、日常生活との関わりも捉えやすく、わかりやすかった。でも、高校で勉強している内容は何に役立つのか分かりづらい。高校の数学って社会で役に立つの？」

大学進学を目指している生徒で、勉強をしなければならないことは自覚しているものの、普段の学習がなかなか成績につながらなかったことから、ボヤきたくなったのだそうです。実際は、数学は様々な分野で社会の基礎を支えていますし、学習することで身に付いた論理的思考力は確実に皆さんの力となります。しかし、義務教育で学んだ内容と異なり、日常生活で利用されていることが実感しづらく、活用できるまで理解が進むのに時間がかかるのは事実だと思います。そのため、高校数学の内容は学習していても、使わなければすぐ忘れてしまうことになりかねません。このことから、高校数学の学習で必要なのは『習慣化』です。毎日、短時間でも問題に触れる時間を作ることで、数学的な考え方や新しい計算法則に慣れ、数学の問題に取り組むのが当たり前の環境を確立しましょう。勉強の仕方の一例ですが、授業の内容と週末課題のみで完結するのではなく、日々 4 プロセスの問題に取り組みましょう。分からなかった問題はチェックしておいて再度取り組むことで、十分な理解につながります。また、FocusGoldSmart は良質な入試問題の宝庫です。基礎学力を定着させ、FocusGoldSmart の問題にも取り組むことができるようになれば、確実に数学力が付きますよ。

«予習について»

教科書の予習はどんどん進めてかまいません。初見の問題に対応する練習ですので、進度表を確認しながら計画的に進めてください。特に、理系に進む人達は 3 年次で数学Ⅲを学び始めます。3 年生の春から勉強を始め、秋に教科書の内容が終わると考えると、それからの受験勉強の時間は少なすぎますよね？今のうちから計画的に予習を進める習慣を身に付けて、受験と向き合う準備を進めましょう。

英語 (英語科: 馬場 香樹 先生)

科学的に効果が実証されている英語音読学習法: 英語学習 Q&A

 生徒: 先生、これから英語の勉強を、将来的には入試にも役立つように勉強したいんですが、何から手をつければ良いですか？

 先生: 高校 1 年生からなら、「音読」から始めるのが効果的だぞ。複数の研究でも効果が実証されているのだ。

 生徒: 音読ですか～？ただ声に出して読むだけじゃないんですか？

 先生: いや、ただ読むだけじゃないぞ。音読は 4 技能(読む・聞く・話す・書く)を総合的に向上させる強力な学習法なのだ。研究によると、大学入学共通テストの長文問題を半分以下の時間で解けるようになった例もある。特に日本人学習者には効果的なのだ。

 生徒: そんなに効果があるんですか! ちなみに具体的にどんな効果があるんですか？

 先生: 主に次の 4 つの効果があるぞ。1. 読解速度が大幅に向上する(特に近年は入試問題で大量の英文を受験生に読ませるので有効だ) 2. 文字・音声・意味を結びつけて、英語を英語のまま理解する能力が育成される 3. 発音練習になるから、リスニング力も自然に向上する(モデルの音声を丁寧に真似ることが重要) 4. 文脈の中で語彙や文法が自然に身につく(身体が正しい英文を覚えてしまう)

 生徒: へえ～、いいことだらけじゃないですか! じゃあ、具体的にはどうやって音読すればいいんですか？

 先生: 次の 3 つのステップで進めるといいぞ。

Step 1: 準備(理解と音「発音・イントネーション」確認) 1 現在の自分のレベルより少し難しい教材を選ぶ(理解度 80%程度が理想)※英 C のテキスト Heartening が最も良いだろう。2 まずは黙読で内容を把握して、知らない単語や使われている文法語法、構文を理解(日本語の意識を先に読んでわかった気にならない) 3 模範(モデル) 音声を聞いて、発音・イントネーション・リズムを確認してコピーするように真似る

Step 2: 基本練習(集中音読) 1 精読音読: わからなかったり難しかった箇所を理解して、そこを 10 回程度繰り返し正確に音読する(この時点でスピードは重要でない) 2 リード&ルックアップ: モデルの音声を聞きながら読まれるフレーズを目で確認したら、顔を上げてそのフレーズを音読する 3 リピーティング: フレーズごとに読まれた英文を音声だけで理解し、そのまま正しく繰り返す 4 シャドーイング: モデルの音声を聞こえたとおりに、ポーズを入れずにすぐに繰り返していく 5 オーバーラッピング: 音声と同時に自分の声をモデルの音声に重ねるように音読する

Step 3: 応用練習(定着と活用) 1 サイトトランスレーション: 英文を見ながらフレーズごとに頭の中で素早く日本語に訳す 2 速音読: 徐々にスピードを上げて音読する 3 暗唱: よく使う表現や文章構造を暗唱して自分のものにする

 生徒: ぜひやってみます! ところで、高 1～高 2 ではどのレベルを目標にしたら良いですか？

 先生: 英検レベルで言えば 2 級、苦手な人は準 2 級レベルを 1 つの目安とすると良いだろう。得意な人は準 1 級を目指そう。ただし必ず受検しろというものではない。あくまでも目安だ。※なんと今年度から準 2 級と 2 級の間に新しい級「準 2 級+プラス」ができたぞ。

 生徒: 実は私、何事も続けるのが苦手なんですが、続けるための何かコツはありますか？

 先生: 語学で成果を出すには「倦怠(飽き)」をどうコントロールするかが重要だ。5 つのコツがある。

1. **継続が命! Practice makes perfect:** 毎日 10～15 分でも続けることが大切(やる気がでない時も「とりあえず5分だけ」のつもりでやってみよ)
2. **集中音読:** 特に理解が難しかった箇所を繰り返し音読する
3. **自分の取り組みを記録に残す:** 自分の取り組んだ量や時間を**必ず記録に残し、常に確認できるようにしておく**
4. **多様な教材:** 同じレベルで様々なピックの教材に触れる。この点でも英 C のテキスト Heartening は適している。
5. **定期的な評価:** 月に 1 回、タイミングを計って読解スピードを確認する

 先生: ざっとこんなところだ。後は実行するだけだ。そして、とにかく続けることが重要だぞ。”Slow but steady wins the race.”を忘れるな。

参考文献 1.Miyasako, N. (2008) “Is The Oral Reading Hypothesis Valid?” Language education and Technology, 45, 15–34. 2.門田修平 (2007)「シャドーイングと音読の科学」高橋(2007)「音読と黙読の理解度比較研究」 3.Tost, G. (2013) “Bettering Pronunciation through Reading Aloud and Peer Appraisal” Bellaterra Journal of Teaching & Learning Language & Literature, 6(1), 35–55.

奨学金についてのお知らせ

奨学金のお知らせは随時以下で更新します。応募を希望する場合は各 HR 担任に相談してください。

Microsoft Teams 鵬 63 回生(R7 入学生)奨学金